

第9期の介護サービス基盤整備の考え

資料6

1. 第8期中の公募状況

	施設名	施設規模
第8期計画 令和3～5年度 (2021～2023)	特定施設入居者生活介護	60名
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	27名 (3ユニット)
	地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) ※定期巡回・随時対応型訪問介護看護(併設)	29名 ※併設:1施設

2. 第9期の基盤整備(案)について

	施設名	施設規模
第9期期間 令和6～8年度 (2024～2026)	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	80名

福祉の里にある市内の唯一の特別養護老人ホームは、定員60名に対して、令和5年7月現在で65名の待機者がいます。今後、後期高齢者人口が増加することも踏まえて第9期計画では引き続き、**特別養護老人ホームの整備を推進**します。また、第8期計画で公募していた地域密着型の定員29名では、採算性が合わないことから広域型に変更し**定員80名に変更**します。

その他にも、第7～8期計画期間で公募をかけても応募者がいないことから、現在の施設整備費用の補助のみではなく、その他の整備方法を広く検討します。

グループホーム、特定施設入居者生活介護については、現在でもグループホームに空室が発生することや、令和5年度から市内に民間の有料老人ホームが開業したこと、特養を整備することによって、既存の施設から人が流れること等を想定し、**整備方針から削除**します。